

今年の夏は楽しい天体ショーがいっぱい!



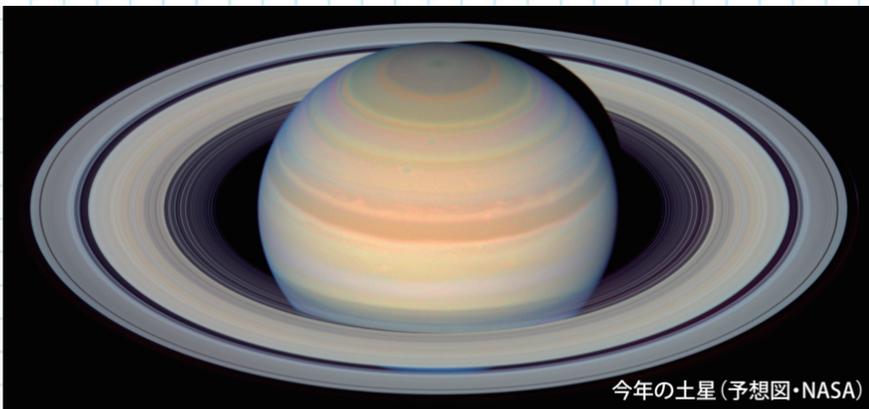
7月下旬から8月にかけて月が木星と土星に接近

7月28日～29日、月は木星のそばを通り、8月3日には土星に接近します。
人気No.1の土星と人気No.2の木星、そして月の共演を観察してみましょう。
どちらも明るいので肉眼でも見ることができます。

7月29日午後9時ごろの芦屋の夜空

今年の土星 「輪っか」がキレイなんです

望遠鏡で見る今年の土星は、輪の傾きが大きくなり、もっとも開いた状態となるため土星本体がすっぽり入ったキレイな姿に見えます。



今年の土星 (予想図・NASA)

木星まめ知識 木星は地球の約11倍・太陽系最大の天体

水素やヘリウムの巨大ガス惑星。表面の様相の大赤斑や白斑は木星の嵐です。



望遠鏡で見た木星の横には、4つの小さな衛星 (木星の月) がならんで見えます。

8月8日 夜明け前の空に 部分月食が見えます

8月8日午前2時22分に、満月が欠け始め
3時20分に左下が最大25%欠けます。
その後は徐々に欠けた部分が小さくなり
4時18分に元の丸い姿に戻ります。



最も大きく欠けている時の様子



ペルセウス座流星群

8月12・13日が見ごろ ペルセウス座流星群

ペルセウス座流星群は毎年8月12日・13日ごろを中心に活動する流星群です。この名前は、ペルセウス座の方向から流星が次々と飛び出てくるように見えるところから名づけられました。空の条件が良ければ、芦屋の空でも1時間に10個以上の流れ星が期待できます。今年、月は夜空を明るく照らしますが、明るい流星は見えるので、安全に注意して空を見上げてみましょう。



解説 いただきました 半田孝氏

みんなで芦屋の空を見上げよう!

今年の夏は木星・土星・部分月食・ペルセウス座流星群など、肉眼や望遠鏡で観察できる天体が盛りだくさん。天気の良い夏之夜には、家族そろって空を見上げ宇宙を感じてみてください。

大阪工業大学特任教授 / 芦屋市環境作り推進会議委員 (1988年から年2回芦屋市で開催している「星空観覧会」の講師は30年目)

広報あしや 7月15日号

- | | | | |
|-------|------------------|----|-------------------------------|
| 2面・3面 | 行政情報
市からのお知らせ | 6面 | くらしの情報ガイド |
| 4面 | 「芦屋の未来遺産100選」 | 7面 | 健康・保健/保健センターだより
(予防・健康づくり) |
| 5面 | 文化・芸術の催し | 8面 | わがまちトピックス |